

敷地利用計画・施設配置計画について出された意見

◇：委員 ◆：事務局

		第1回施設部会で出された主な意見等
A案	北側高層棟・ 地上グラウンド案	<p>◇例えば火災が起きた場合、教師は児童・生徒の避難誘導のため、エレベーターが利用できない状況のもと、上層階に階段で急いで昇らなければならない。</p> <p>◇高層建築物のため、排煙設備は完備されていたとしても、煙が煙突効果で上層階へと素早く上がっていくのではないかと。</p> <p>◇体育館やプールなどが上層階にあることで、建築躯体にかかる負担が大きく、変形や水漏れなどが起きるのではないかと。</p> <p>◇高層階にいる中学生徒の避難動線と、低層階にいる小学児童の避難動線とが交錯し、児童・生徒の安全性を守りにくいと考えられる。</p> <p>◆児童・生徒のセキュリティを確保するためには、運動場の周囲に高い塀が必要である。</p>
B案	南西側中層棟・ 人工地盤グラウンド案	<p>◇良い案だと思うが、人工地盤の位置を下げることはできないか。東側の住宅は一軒家が多いため、圧迫感を考えるともう少し低い方がよいと思う。</p> <p>◇図案中の3階建部分を建てずに、運動場を広く確保することはできないか。</p> <p>◆詳細な検討はこれからとなる。</p> <p>◆児童・生徒のセキュリティを確保するためには、運動場（人工地盤面）の周囲に塀は必要だが、地上面において道路と建物の間を有効なスペースとして活用できる可能性がある。</p>
C案	屋上グラウンド案	<p>◇運動場が屋上にあるため、長期的には構造上の問題が起これると考えられる。</p> <p>◇災害時の避難場所としては適切ではない。</p> <p>◇体育館が建物の中央部にあるため、体育館からの音が教室等に影響を与えることが考えられる。</p> <p>◆屋上運動場に車両が上がるためのスロープが長くなり、建物本体や周辺環境への影響は大きいと思われる。</p>
3案共通事項		<p>◇建設コストの比較はどうか。</p> <p>◆大まかな想定では大差はないと考える。</p> <p>〔 A案：体育館やプールを上層階に設けることにより、構造面からは重量的に厳しくなるため、費用増の要因となる。 B案：一般的に地下利用は費用増の要因となるが、人工地盤高さとのバランスが取れた案である。さらに人工地盤を下げることは、費用増の要因となる。 C案：地震などの揺れに対して異なった動きをする体育館棟と校舎棟で運動場を支えるため、構造的に複雑となり、費用増の要因となる。〕</p> <p>◆運動場の広さは3案とも大きく変わらない。</p>
その他		<p>◇花壇、ビオトープ等はどの案でも取れるのか。</p> <p>◆ビオトープについては、人工地盤面では取りにくいいため、地上面が望ましいと考える。</p> <p>◇運動場グラウンド面の素材はどのようにするのか。</p> <p>◆具体については、今後の詳細検討において行う。</p>